

# れんごう中越地協

第858号2015.5.21  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費に含まれる



## なごおかりフサポートセンター

### 理事会で年度事業実績と今年度計画を協議

#### 昨年度より相談件数が増加・終了後労協幹事会

なごおかりフサポートセンター(以下LSC)の理事会が、4月20日(月)午後1時30分からアオーレ長岡で開催された。理事会では、14年度の事業実績と決算、会計監査が報告承認された。また、終了後には長岡地区労働者福祉協議会(以下地区労協)幹事会が行われた。



なごおかりLSC理事会にあり、矢島理事長は「14年度も多くの相談が寄せられ、当センターは県内の2分の1を占めている。地方では景気を未だ反映していない状況なのかと受け皿的に色々な相談を受けている。ワーク・ライフ・バランスという社会問題や引き続き事業解決の糸口を見つけて出すことに力を入れていきたい」旨の挨拶を述べた。

事務局から14年度事業実績が報告承認された。主なものは次のようになる。年間相談件数は418件と昨年比16件多かった。見附事務所は49件、県全体では946件(県に占める割合44.2%)だ。今年度の相談傾向としては、「家庭問題」が一番多く、次に「こころの問題」「労働相談」「消費生活」「離婚・男女問題」がそれぞれ

50件以上と続き、「消費生活」「人間関係」「就職」の7課題で全体の8割強を占めている。また、毎週木曜日に開催している「心と身体を守るセルフケア」事業は、平均6から7人の利用者があり年間で341人が利用した。第2・第4金曜日には個人カウンセラーをおこなった。これら相談の媒体はLSCのチラシで、3月から12月までポストインで約7万5千枚、新聞折り込みが4万枚以上配られた。このほかLSC応援団への「ちつと手伝おうねか通信」を4回発行したことやみつけ元気助け合いの会が6周年を迎えたこと等が報告された。

続いて、15年度事業計画として、連携・協力体制で受付態勢を強化することやサポートのネットワーク化等を柱に事業展開すること、15年度予算が確定された。

次に15年度事業計画が協議され、LSC理事会改廃に伴う組織見直しの扱い方などの詳細は、新潟県労協と、連合中越地協事業

「第40回勤労者ゆとり釣魚大会」等の後援を確認した。第40回勤労者ゆとり釣魚大会実行委員会が、5月14日(木)午後6時から勤労会館で開かれた。会議には、吉澤実行委員長と羽賀連合中越地協副議長(教宣文化

担当)に事務局を加えた3者で協議の結果、大会日等を6月7日(日)柿崎中央海水浴場午前5時から決定した。多くの太公望の参加を得て、釣果の上を期待したい。(詳細は裏面)

認された。また、既に新潟県LSCで決定しているLSC事業を地区労協事業に移管し、理事会をなくしていくこと等の組織整備を確認した。

なごおかりLSC総会は6月22日に開催される予定だ。長岡地区労協幹事会で年間計画協議

先日、第86回メーデー地区大会が長岡地区大会ならびに各支部において開催されました。今年のメーデーは「ワーク・ライフ・バランス」でありました。ワーク・ライフ・バランスは単純に仕事と生活を半々にするということではなく、仕事と生活の調和であるといわれております。このワーク・ライフ・バランスの重要なところは、個人々々で仕事と生活で重点をおくところが違うということと、年齢によっても変わってくるということろです。個人の置かれた状況に応じて、やりがいや充実感をもちながら働き、家

庭生活においても多様な生き方が選択・実現できなくなっている。最近では「仕事と生活のアンバランスが原因で仕事中毒となり、心身疲労で『うつ病』や『精神疾患』になり、過労死・自殺にまで至るケースもあるようであり、今、人生の7割の時間が生活の時間といわれております。生活の時間を充実させて、心身リフレッシュと健康維持を行い仕事と生活の好循環を実現させることができるよう、もう一度『ワーク・ライフ・バランス』について考えてみませんか。



副議長  
松野憲一郎

**連合中越地協第7回幹事会**  
**メーデー反省会**

日時 5月27日(水)18:30~  
場所 長岡ランドホテル  
議題 STOP THE格差社会 全国集会視聴  
当面の課題及びメーデーの反省 他

夫の修理は、ネジあまる(お弁当 息子ないとき オレもなし)

サラリーマン川柳(腹の虫 口から出れば ごまをすり) (言っただろ 言った言葉が また違う) (まかせなさい 夫の修理は、ネジあまる) (お弁当 息子ないとき オレもなし)

サラリーマン川柳 (何したい 何もしないを 是非したい) (この散歩 ケーキ一つで チャラとなる) (参観日 あまり塗るなど 子に言われ) (飲み込んだ 言葉多くて 胃が痛い)

ここが問題!

運用について

GPIFの資産構成割合は下図のとおりです。現時点では安全資産といわれる国内債券が60%を占めていますが、政府およびGPIFは、株式にとどまらず、不動産、インフラ(電力発電電、ガスパイプライン、鉄道等)投資などのリスク性資産割合を高める方向で議論を進めています。

これはGPIFに限った話ではなく、公務員の年金を管理運用する共済年金も政府から同様の要請を受けています。

こうした中、すでにGPIFは国内外の機関投資家との共同による海外のインフラ投資の開始を決定し、5年程度かけて最大総額約2,800億円を拠出するとしています。



ガバナンス(組織運営)について

GPIFには、中期計画および業務方法書の審議、年金積立金の管理運用業務の実施状況の監視等を任務とする「運用委員会」があります。ただし、委員は経済・金融の専門家等の「学識経験者」から厚生労働大臣が任命するしくみとなっています。

GPIFは独立行政法人で、権限・責任が理事長一人に集中しており、保険料拠出者である労働者が代表として運用のあり方を決定するガバナンス体制が構築されていません。

連合はこう考えます!

- 1 専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すべきです。そのため、債券運用を中心に元本確保、安定運用を基本とすべきです。
2 不動産投資等リスク性資産割合を高めることは、年金積立金が膨張した場合、法的には大臣に責任があるとはいえ、GPIF等の管理運用主体が責任をとるわけでもなく、結局は被保険者・受給者が被害を被ることになるため、反対です。
3 年金財政上必要な運用利回りを確保することが大前提です。高リスクをとってまで収益の最大化を追求することが求められているわけではありません。
4 債券運用を中心としながらも、現実的に株式での運用が行われており、被保険者の雇用・労働条件の向上や生活の安定、社会的公正の実現に資するためにも、国連責任投資原則に則り、非財務的要害であるESG(環境、社会、コーポレートガバナンス)を考慮すべきです。
5 GPIFについては、年金積立金は被保険者から徴収された保険料の一部であることから、保険料拠出者の意思が確実に反映されるガバナンス体制を構築すべきです(労働者を含むステークホルダーによる合議制機関(理事会)の設置など)。

問い合わせ先 日本労働組合総連合会(連合)生活福祉局 (03)-5295-0523 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 jtuc-selkatsu@sv.rengo-net.or.jp

私たちの年金積立金が危ない!!!

年金積立金はだれのもの?!

- 政府とGPIFは、私たちが払い続けている年金保険料の積立金について、国内債券中心から、株式、不動産やインフラ(電力、ガス、鉄道等)投資などリスクの高い運用に舵を切る方向で見直しを進めています。
●こうした検討が、「経済成長」の名の下で、保険料を払っている労働者の意見が反映されないまま、有識者や金融関係者などによって好き勝手に進められています。

●GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人) 民間サラリーマンと自営業者のための年金保険料の積立金。法律に基づき厚生労働大臣から委託されて、管理・運用を行っている。2012年度末の運用総額は約120兆円。

Comic strip panels discussing GPIF's investment strategy, governance, and the impact on workers. Includes a large speech bubble: 'おかしいと思いませんか!?' (Isn't it strange?).

第40回連合中越

勤労者ゆとり釣魚大会「キス釣」のご案内

- 開催日時 6月7日(日) 開会 午前5:00(受付4:40~)
会場 柿崎中央海水浴場(地図参照)
集合地 同上駐車場
切上時刻 午前11時
対象魚族 キス一本(キス以外の大物賞あり)
漁法 投釣り(竿は2本まで)

- ☆競技詳細 大会当日、審査委員長よりルール説明あり
☆参加費 1,000円
☆申込締切 6月2日(火)まで
☆申込場所 連合中越事務局もしくは各構成産別
☆申込用紙 連合中越と上記場所にあり(氏名、年齢、住所、電話)
☆その他 参加費は申込み時当日支払をお願いします。キャンセル時の返金は出来ませんのでご了承下さい
☆お問合せ 連合中越 (TEL0258-24-0515、FAX0258-24-8930)

協賛団体:長岡地区労働者福祉協議会

